

ものづくり教室コーナー

金属労協は、「ものづくり教室」を応援・推進しています

金属労協は、ものづくり産業基盤の確立を労働組合の立場から推進しています。その一環として、将来のものづくりを担う人材づくりのために「ものづくり教育」の強化・充実を提唱してきました。

その中で、金属労協は、労働組合自らの取り組みとして、「ものづくり教室」の開催を提唱、2003年12月に第1回を開催して以来、小学生を対象に、金属労協地方ブロックのサポートのもと、地方連合金属部門連絡会の場を通して「ものづくり教室」の開催を全国的に支援・推進してきました。各地方ブロックの尽力のもと、直近の2016年度においては、全国35都道府県で開催しております。

今回は、各地のものづくり教室で、実際に子供たちが制作したキッドの完成品を展示して、ものづくり教室を実際に担当されている各県の事務局の方々への参考としていただくと共に、13年以上にわたって各県で継続実施している、「ものづくり教室」について理解を深めていただくために、展示コーナーを設けました。

金属労協（JCM）

